

平成27年度 運営に関する計画

大阪市立難波中学校

めざすべき学校像

- ・「豊かな心」と「たくましく生きる健康や体力」を育み、「確かな学力」を身につけ、自ら「よりよく“生きる力”」を会得する生徒を育成する。
- ・教職員が自己の研鑽と資質の向上に努めるとともに、組織運営の基本を「主体性の発揮」「機動性の重視」「協力・協働」「連携強化」として、よりよい教育活動を創りあげる。
- ・「人権」文化を育んできた地域性や歴史・伝統等の特色を生かし、一人一人の生徒を大切にす教育を進め、「地域に根ざす・開かれた学校づくり」を推進する。

子ども像(校訓)

自律・協力・創造

- ・自ら考え、正しく判断し、積極的に行動できる子ども。
- ・他人を思いやる優しい心で、お互いの人権を尊重し、集団の一員として責任を果たす子ども。
- ・心身を鍛え、情操豊かに生きること、新しい発想や考え方、チャレンジ精神を持つ子ども。

視点

【学力の向上】

- ・習熟度別や分割授業、ICT機器の活用等を通して「わかる」授業の創造をめざし、「低・中・高」各層の学力を向上させる。
- ・言語活動の充実をポイントに研究授業や相互参観授業を実施し、「教師力」向上を図る。
- ・学習習慣の確立に向けてスモールステップのテストや家庭学習の定着を図る。

【道徳心・社会性の育成】

- ・人権に対する正しい理解と認識を深めさせ、自尊感情を高めるとともに相手の立場が理解できる生徒を育てる。
- ・「生命や環境、自然の大切さを認める」生き方を考えさせ、人間が本来もっている「よりよく生きたい」という願いや、よい生き方を求め実践する生徒を育成する。

【健康・体力の保持増進】

- ・自己の心身の健康や体力の保持・増進について関心を深め、諸課題に対応する能力を身につける。また、生涯を通じて健康で安全な生活を送るための基礎を培う。

大阪市立難波中学校 平成27年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

友人や家族など「仲間」のことを温かく考え接することができる生徒が多く、卒業式や入学式などの儀式的行事をはじめ、体育大会や文化活動発表会なども校訓である「協力」を合言葉に、地域や保護者から称賛を受ける学校行事を教職員とともに作りあげている。また、部活動や委員会活動にも熱心に取り組み、教育活動全般を通して「自尊感情」を高める取り組みを進めることができている。学習に対しても前向きに取り組んでいるが、既習内容が定着していない現状や、学習習慣が確立しきれていない生徒もあり、学力の向上が喫緊の課題である。

また教職員の年齢構成が若く、生徒とともに活動的に取り組むことができるが、「わかる授業」の創造にむけ、授業力をさらに向上させるべく、指導方法の工夫・改善に取り組んでいる。

中期目標

- ・「平成 28 年度全国学力・学習状況調査」の結果で、前年度との正答率の差を平成 25 年度結果より各教科とも 10%以上向上させる。【カリキュラム改革】
- ・「平成 24 年度全国学力・学習状況調査」の結果で低かった宿題や予復習等の家庭学習の時間が 1 日 1 時間未満の生徒の割合を、平成 28 年度の結果において 10%以上減少させる。【学校サポート改革】
- ・ユニバーサルデザインの授業や I C T機器の活用を図り、平成 27 年度 3 学期に行う授業アンケートで「授業がわかりやすい」と答える生徒の割合を全体の 65%以上にする。【ガバナンス改革】
- ・平成 27 年度末の生徒アンケートにおける「人権や平和・いのちについて考え、それらを守っていくことの大切さを学んだ」、「学校生活の中で、自分も他者も尊重する活動ができた」の項目について、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」と答える生徒の割合を、全体の 75%以上にする。【カリキュラム改革】
- ・平成 28 年度全国学力・学習状況調査の「人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか」の設問で「当てはまる」回答を 80%以上にする。(平成 24 年度 70.6%)【カリキュラム改革】
- ・平成 28 年度の全国学力・学習状況調査の「学校の規則を守っていますか」の設問で肯定的な回答を 95%以上にする。(平成 24 年度 88.2%)【カリキュラム改革】
- ・平成 27 年度末の生徒アンケートにおける「集団や社会のルール、道徳マナーを守っていくことの大切さを学んだ」、「他者を思いやり、相手の立場になって考え、優しい心を持って行動できるように努めた」の項目について、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」と答える生徒の割合を、全体の 70%以上にする。【カリキュラム改革】
- ・平成 27 年度末の生徒アンケートで「いろいろな職業について興味を持ち、自分の将来や生き方について考えた」の項目について、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」と答える生徒の割合を、全体の 70%以上にする。【カリキュラム改革】

- ・平成 27 年度末の保護者アンケートで「学校は家庭・地域との連携を密にとっている」割合を 60%以上にする。 【ガバナンス改革】
- ・平成 27 年度年度末の生徒アンケートで、「早寝・早起き・朝ご飯を実践している」肯定的な意見を 65%以上にする。 【カリキュラム改革】
- ・平成 27 年度末の生徒アンケートで、「健康に気をつけている」肯定的な意見を 65%以上にする。 【カリキュラム改革】
- ・平成 27 年度の体育的行事の事後アンケートで、満足度に対する肯定的な意見を 65%以上にする。 【カリキュラム改革】
- ・平成 27 年度末の保護者アンケートで「学校は子どもの健康管理に努めている」の数値を平成 24 年度より上回る。 【ガバナンス改革】

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【学力の向上】

- ① 平成 27 年度全国学力・学習状況調査」の結果で、前年度との正答率の差を平成 26 年度結果より各教科とも 5 %以上向上させる。 【カリキュラム改革】
- ② 2 学期末テストにおいて、正答率 3 割以下の得点低位層を前年度より 5 %減少させる。 【マネジメント改革】
- ③ 平成 25 年度全国学力・学習状況調査」の結果で低かった宿題や予復習等の家庭学習の時間が 1 日 1 時間未満の生徒の割合を、平成 27 年度の結果において 5%減少させる。 【学校サポート改革】
- ④ ユニバーサルデザインの授業や I C T機器の活用を図り、3 学期に行う授業アンケートで「授業がわかりやすい」と答える生徒の割合を全体の 5 0 %以上にする。 【ガバナンス改革】

【道徳心・社会性の育成】

- ① 今年度末の生徒アンケートにおける「人権や平和・いのちについて考え、それらを守っていくことの大切さを学んだ」、「学校生活の中で、自分も他者も尊重する活動ができた」の項目について、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」と答える生徒の割合を、全体の 75%以上にする。 【カリキュラム改革】
学校で認知した「いじめ」について、解消に向けて組織的に対応している割合を 100%にする。 【マネジメント改革】
- ② 今年度末の生徒アンケートで「学校の規則を守っている」生徒の割合を 80%以上に維持する。(昨年度末 83.6%) 【カリキュラム改革】
- ③ 今年度末の生徒アンケートにおける「集団や社会のルール、道徳マナーを守っていくことの大切さを学んだ」、「他者を思いやり、相手の立場になって考え、優しい心を持って行動できるように努めた」の項目について、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」と答える生徒の割合を、全体の 75%以上にする。 【カリキュラム改革】
- ④ 今年度末の生徒アンケートで「生徒会・各種委員会・学級の係を頑張っている」生徒の割合を 80%以上に維持する。(昨年度 87%) 【カリキュラム改革】
- ⑤ 今年度末の生徒アンケートにおける「いろいろな職業について興味を持ち、自分の将来や生き方について考えた」の項目について、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」と答える生徒の割合を、全体の 70%以上にする。 【カリキュラム改革】
- ⑥ 今年度末の保護者アンケートで「学校は家庭・地域との連携を密にとっている」割合を 60%以上に維持する。(昨年度末 63.4%) 【マネジメント改

- ⑦ 今年度末の保護者アンケートで「学校の環境美化は保たれている」割合を前年度より増加させる。(前年度 82.2%)
【マネジメント改革】
- 【健康・体力の保持増進】
- ① 今年度末の生徒アンケートで、「早寝・早起き・朝ご飯を実践している」肯定的な意見を 60%以上にする。
【カリキュラム改革】
- ② 今年度末の生徒アンケートで、「健康に気をつけている」肯定的な意見を 60%以上にする。
【カリキュラム改革】
- ③ 体育的行事のアンケートを実施し、満足度に対する肯定的な意見を 80%以上にする。
(前年度 1 年生「カヌー・カヤック (一泊移住)」94.2%、「球技大会」88.5%、2 年生「球技大会」82.6%、3 年生「球技大会」83.3%)
【カリキュラム改革】
- 今年度末の生徒アンケートで、部活動に関する肯定的な意見を前年度の 78.2%以上にする。
【カリキュラム改革】
- ④ 今年度末の生徒アンケートで＜保健体育＞項目「できる限り技能を身につけようと心がけている」生徒の割合を 90%以上にする。
【カリキュラム改革】
- ⑤ 今年度末の生徒アンケートで＜保健体育＞項目「積極的に体育に取り組んでいる」を前年度の 87.9%を上回るようにする。
【カリキュラム改革】
- ⑥ 学校評価アンケートで「学校は子どもの健康管理に努めている」の数値を前年度並みに維持する。
【ガバナンス改革】

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立難波中学校 平成27年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学力の向上】 ① 平成 27 年度全国学力・学習状況調査」の結果で、前年度との正答率の差を平成 26 年度結果より各教科とも 5 %以上向上させる。 【カリキュラム改革】 ② 2 学期末テストにおいて、正答率 3 割以下の得点低位層を前年度より 5 %減少させる。 【マネジメント改革】 ③ 平成 25 年度全国学力・学習状況調査」の結果で低かった宿題や予復習等の家庭学習の時間が 1 日 1 時間未満の生徒の割合を、平成 27 年度の結果において 5%減少させる。 【学校サポート改革】 ④ ユニバーサルデザインの授業や I C T機器の活用を図り、3 学期に行う授業アンケートで「授業がわかりやすい」と答える生徒の割合を全体の 5 0 %以上にする。 【ガバナンス改革】	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【習熟度別少人数授業の充実】 国語・数学・英語において、全学年とも習熟度別学習を充実させる。 指標 国語・数学・英語において、全学年とも年間を通じて 2 人体制で授業を実施し、計画的に習熟度別学習を行う。	
取組内容②【授業研究を伴う校内研修の充実】 研究授業や教師間の相互参観授業を行い、教師の授業力をのばす。 指標 相互授業参観週間を 1・2 学期に行う。年 6 回の研究授業を行う。 各学期に生徒対象に、授業アンケートを行う。	
取組内容②【組織的な補充学習】 得点低位層に対する補充学習を行い、基礎・基本の学習の徹底を図る。 指標 定期テスト・ステップアップテストにおける得点低位層に対し、各教科が各学年と連携して補充学習を行う。	
取組内容③【自主学習習慣の確立】 定期テストに加えて、国語・社会・数学・理科・英語で定期テストに準じるステップアップテストを全学年で行い、これに向けての放課後学習・宿題等を行わせることで学習習慣の定着を図る。 指標 国語・社会・数学・理科・英語において年間 5 回（3 年生は 4 回）のステップアップテストを行う。	

取組内容③【自主学習習慣の確立】 各学年で家庭学習に向けた取り組みを推進し、学習習慣を定着させる。	
指標 年度初めに「学習の手引き」を作成し、各学年、各教科で予習・復習等の家庭学習の方法を年間を通じて、継続的に指導する。	
取組内容③【自主学習習慣の確立】 元気アップ事業と連動させて、放課後、テスト前、長期休業中の学習会を行う。	
指標 図書室や多目的室等学校の施設を自習室として、計画的に開放する。	
取組内容④【教育環境の整備、各種研究・研修の充実】 学校全体でのユニバーサルデザインの授業やＩＣＴ機器の活用により、生徒の学習理解の充実を図る。	
指標 研修会を実施し、学校全体でユニバーサルデザインの共通理解を図る。 電子黒板、タブレット端末等のＩＣＴ機器を活用した授業を計画的に行う。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

次年度への改善点

大阪市立難波中学校 平成27年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【道徳心・社会性の育成】 ① 今年度末の生徒アンケートにおける「人権や平和・いのちについて考え、それらを守っていくことの大切さを学んだ」、「学校生活の中で、自分も他者も尊重する活動ができた」の項目について、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」と答える生徒の割合を、全体の75%以上にする。 【カリキュラム改革】 学校で認知した「いじめ」について、解消に向けて組織的に対応している割合を100%にする。 【マネジメント改革】 ② 今年度末の生徒アンケートで「学校の規則を守っている」生徒の割合を80%以上に維持する。(昨年度末83.6%) 【カリキュラム改革】 ③ 今年度末の生徒アンケートにおける「集団や社会のルール、道徳マナーを守っていくことの大切さを学んだ」、「他者を思いやり、相手の立場になって考え、優しい心を持って行動できるように努めた」の項目について、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」と答える生徒の割合を、全体の80%以上にする。 【カリキュラム改革】 ④ 今年度末の生徒アンケートで「生徒会・各種委員会・学級の係を頑張っている」生徒の割合を80%以上に維持する。(昨年度末87%) 【カリキュラム改革】 ⑤ 今年度末の生徒アンケートにおける「いろいろな職業について興味を持ち、自分の将来や生き方について考えた」の項目について、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」と答える生徒の割合を、全体の70%以上にする。 【カリキュラム改革】 ⑥ 今年度末の保護者アンケートで「学校は家庭・地域との連携を密にとっている」割合を60%以上に維持する。(昨年度末63.4%) 【マネジメント改革】 ⑦ 今年度末の保護者アンケートにおける「学校の環境美化は保たれている」の項目について、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」と答える保護者の割合を、全体の80%以上にする。 【マネジメント改革】	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容① 【人権を尊重する教育の推進】 同和教育、平和教育、特別支援教育、国際理解教育の4つを人権教育の柱とし、3年間でこれらを組織的・系統的に取り組み、人権総合学習の充実を図る。 指標 同和教育…地域フィールドワーク(人権・太鼓ロード)+リバティおおさか見学(2年生) 平和教育…8・6人権平和登校日(全学年)、ピースおおさか見学(1年生) 特別支援教育…車いす体験学習(1年生)、 盲導犬を使用する視覚障がい者による講話(2年生) 国際理解教育…ソンセンニムによる講話(3年生)	

取組内容①【いじめ・問題行動への対応】 毎週の主任会で各学年の状況や道徳・人権学習の取り組みの情報交換を行い、未然防止・早期対応に努める。	
指標 定期的な教育相談や個人懇談会、いじめに関するアンケートの実施。 道徳・人権学習を生徒の発達段階に合わせて系統的・計画的に実施する。	
取組内容②【道徳教育の推進】 学校の規則を守る意識や生活上のマナーをわきまえるなど、規範意識を高める。	
指標 月初めの全校集会で「服装点検」を実施し、身だしなみを主体的に整えさせる。 週末に「一週間を振り返る」時間を設定し、生徒の状況を把握する。	
取組内容③【道徳教育の推進】 さまざまな学校行事を通して、集団の中での自分の役割と責任を自覚させる。また、相手を思いやり、優しい心を持って行動できる態度を育てる。特に、校訓である「自律」、「協力」、「創造」を意識させていく。	
指標 学校全体…体育大会、文化活動発表会、子ども人権文化祭 1年生…一泊移住 2年生…大阪市内班別行動 3年生…修学旅行	
取組内容④【特別活動】 生徒会活動や各種委員会活動、学級での「一人一役」の係り活動を充実させる。	
指標 生徒会が運営する全校集会の実施（毎週）。 あいさつ運動やおはよう清掃、図書館開放など各種委員会を計画的に取り組む。	
取組内容⑤【キャリア教育の推進】 3年間で系統的に行うキャリア教育を通して勤労観・職業観を養うとともに、自尊感情を高め、自己の将来について考えさせる。	
指標 学校全体…芸術鑑賞会 1年生…職業講話（大相撲力士） 2年生…職業体験学習、卒業生講話 3年生…進路学習、進路懇談	
取組内容⑥【学校・家庭・地域の連携の推進】 保護者との連携や PTA 実行委員会・学校協議会での情報交換、地域巡視の参加を通して家庭・地域との協働関係を構築する。	
指標 各会議や巡視活動に定期的・計画的に参加する。	
取組内容⑦【美化・環境整備】 草花や野菜などの栽培活動や、廊下・階段・教室等、生徒が過ごしやすい学習環境を整え、自然環境や公共物を大切にする心を育てる緑化・整備活動を実施する。	
指標 学校元気アップ事業と連携し、地域の緑化ボランティアの方々に協力いただいての緑化園芸活動や清掃・整備活動を年間2回以上実施する。 また、学校全体の環境美化を整えるため、清掃場所のローテーションを組んで清掃活動を実施する。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立難波中学校 平成27年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【健康・体力の保持増進】 ① 今年度末の生徒アンケートで、「早寝・早起き・朝ご飯を実践している」肯定的な意見を60%以上にする。 【カリキュラム改革】 ② 今年度末の生徒アンケートで、「健康に気をつけている」肯定的な意見を60%以上にする。 【カリキュラム改革】 ③ 体育的行事のアンケートを実施し、満足度に対する肯定的な意見を80%以上にする。 (前年度 1年生「カヌー・カヤック(一泊移住)」94.2%、「球技大会」88.5%、2年生「球技大会」82.6%、3年生「球技大会」83.3%) 【カリキュラム改革】 今年度末の生徒アンケートで、部活動に関する肯定的な意見を前年度の78.2%以上にする。 【カリキュラム改革】 ④ 今年度末の生徒アンケートで＜保健体育＞項目「できる限り技能を身につけよう」と心がけている」生徒の割合を90%以上にする。 【カリキュラム改革】 ⑤ 今年度末の生徒アンケートで＜保健体育＞項目「積極的に体育に取り組んでいる」を前年度の87.9%を上回るようにする。 【カリキュラム改革】 ⑥ 学校評価アンケートで「学校は子どもの健康管理に努めている」の数値を前年度並みに維持する。 【ガバナンス改革】	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容① 【健康的な生活習慣の確立】 自己の健康について関心をもち、積極的に健康を保持・増進できる心や習慣を養う。 指標 ・健康診断や各学級の保健委員の活動を通じて取り組む。	
取組内容② 【健康に関する現代的課題への対応】 現代的課題について、自ら予防する意識を高める。 指標 ・歯と口の健康教室・喫煙防止(1年)、薬物乱用防止(2年)、飲酒防止(3年)、性教育について計画的に実施する。	
取組内容③ 【体育的活動の充実】 学校全体や各学年等での実施計画に基づき、学校行事や部活動(運動部)の充実を図る。 指標 ・体育大会、球技大会、一泊移住を計画的に実施する。 ・顧問間の情報交換を密にし、部活動の部長会議を定期的実施する。	

取組内容④【体育科の授業の充実】 運動の楽しさや喜びを味わえるよう基礎的な運動の技能や知識を身につけさせる。	
指標 ・一斉指導による反復練習のほか、グループ学習を実施する。 ・各単元で学習カードやワークシートを作成し、習熟度を知る。	
取組内容⑤【体力向上への支援】 適切な運動習慣を確立させ、自己の状況に応じた体力の向上と心身の調和的発達を図る。	
指標 ・新体力テストの結果を活用し、目的に適した運動を計画的に実施する。	
取組内容⑥【学校・家庭・地域の連携の推進】 学校生活及び校外生活における保健・安全管理に努める。	
指標 ・毎月保健だよりと食育だよりを配布し、生徒及び保護者の健康への意識を浸透させる。 ・各学期に学校保健委員会を実施し、専門家から定期的にアドバイスを受ける。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

次年度への改善点

平成 2 7 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立難波中学校 学校協議会

1 総括についての評価

--

2 年度目標ごとの評価

年度目標：
年度目標：

3 今後の学校運営についての意見

--

